

---

## シンポジウム

# ”空間の明るさ”による照明設計の現状と課題

---

主催：日本建築学会 環境工学委員会 光環境運営委員会 視環境設計小委員会

日時：2017年2月23日（木） 13:30～16:55

会場：建築学会3階会議室（東京都港区芝5-26-20）

昨今の照明計画においては、従来の照度設計から輝度設計への転換の重要性が広く認識されると同時に、さらに一歩踏み込んで人が知覚する「明るさ」をより正確に予測して設計に活かしていこうとする流れが活発化している。本シンポジウムは、光環境運営委員会 視環境設計小委員会 明るさ感WGの活動成果をもとに、まず若干混乱状態にある「明るさ」概念の整理を行うとともに、「空間の明るさ」に関する様々な指標の適用範囲や特性を明らかにし、今後の明るさ設計の可能性・方向性を議論することを目的としている。

省エネルギーと質の高さを両立させた照明環境を目指すためには、これまでの照度基準では不十分であることは既に明らかであるが、一方でそれに代わる指標については、まだ有効性の検証が不十分である。実際の設計に関わる方、研究者、将来の照明分野を担う学生を始め、数多くの方々にぜひ参加いただき、実りある議論をしていきたい。

### <プログラム>

13:30-13:35	趣旨説明	吉澤望（東京理科大学）
13:35-13:55	明るさの概念整理	原直也（関西大学）
13:55-14:15	最近の指標紹介と分類	加藤未佳（金沢工業大学）
14:15-14:35	空間特性と明るさ指標の比較検討	吉澤望（東京理科大学）
14:35-15:05	質疑応答&討論	
15:05-15:20	休憩	
15:20-15:40	明るさに基づく設計の可能性と課題①：事例を通して	鈴木直行（遠藤照明）
15:40-16:00	明るさに基づく設計の可能性と課題②：事例を通して	岩井彌（パナソニック）
16:00-16:20	明るさに基づく設計の可能性と課題③：事例を通して	篠原奈緒子（日建設計）
16:20-16:50	質疑応答&討論	進行：大井尚行（九州大学）
16:50-16:55	閉会挨拶	

---

参加費：会員 2,500 円、会員外 3,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：60名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1705> よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail : [ichinose@aij.or.jp](mailto:ichinose@aij.or.jp)